

令和5年度岡山県高教研学校図書館部会司書部会第4回備前支部研修会(議事録)

日時:令和6年2月22日(木) 13:30~16:30

会場:岡山県立和気閑谷高等学校/図書館

参加者:23名

1.開会(13:30)

2.プチ紹介(13:30~13:50)

「こんなところで展示しています/教えて!あか抜けアイデア」

- ・グループごとに意見交換
- ・自校についての補足・持参物等の紹介
- ・今後自校で展示で取り組みたいこと、他校の事例でやってみたいことなどを表明。
- ・グループ外の学校への質問

3.研修「和気閑谷高校図書館の見直し」(14:00~16:00)

「研修『和気閑谷高校図書館の見直し~あか抜けアイデア・展示~』記録」参照

4.諸連絡(16:00~16:30)

(1)備前支部事務局より

- ・読書感想文集の持ち帰り、会費納入のお願い

(2)ネットワーク研究委員会システム担当より

- ・図書館システム最新版3月届く予定

(3)ネットワーク県有委員会読書推進担当より

- ・先日のアンケート集計・分析結果を近日中に報告
- ・2/26で一れーBOOKs2024発表
- ・「おかやま文学フェスティバル」に高教研学校図書館部会として参加。
- 「で一れーBOOKs」10年間の軌跡とノミネート本、大賞本を展示

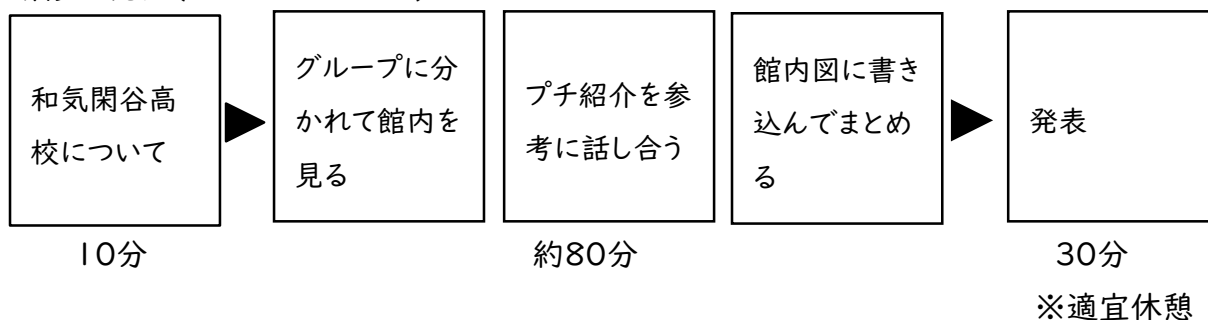
(4)理事会より

- ・R6年度倉敷大会(2024.7.25)対面で開催予定。
- ・来年度実態調査をフォームで実施(備前支部)予定。
- ・SLA司書部会HPを8月更新予定。
- ・高校備前地区理事を1名増員したい。→承認

5.閉会(16:30)

## 研修「和気閑谷高校図書館の見直し～あか抜けアイデア・展示～」記録

### 研修の流れ(14:00～16:00)

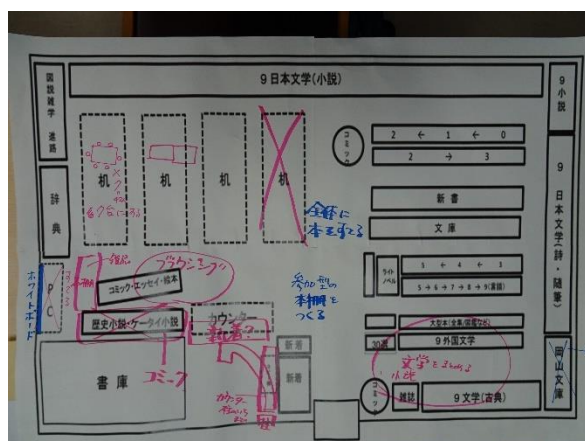


### 見直しのポイント

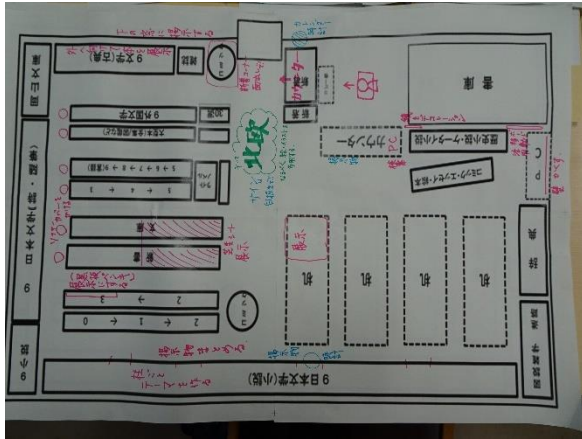
- ・統一感をどう出すか
- ・撤去したほうが良いもの
- ・ここを動かすといいかも
- ・ここにこんな展示があるといいかも
- ・あか抜けアイデア

### 重複した意見

- ・学校のカラーをテーマカラーにして、見出しなどフォントも統一する
- ・館内入り口は広がる感じにするため、カウンターと新着展示台の位置を見直す
- ・柱の有効活用(ワイヤーを駆使して、展示コーナーをつくる)
- ・ブラックボードやマグネットが使える黒板を展示に活用する
- ・本の除籍を進める。机、棚を減らす(出来たら検索パソコンやパソコンデスクも)

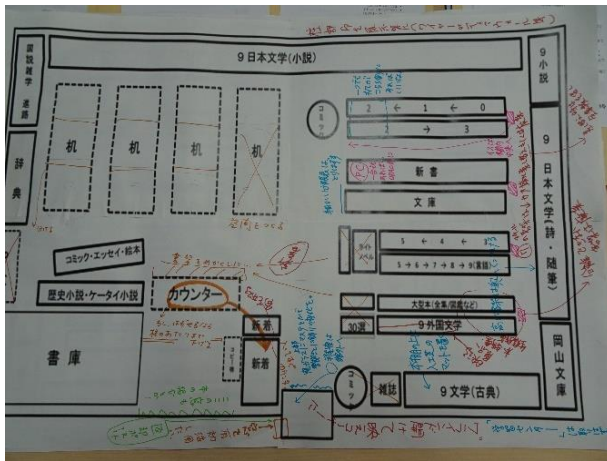


- ・分散しているコミック・雑誌をまとめる
- ・文学(9類)をまとめる
- ・外から見えるようにブラインドは開けておく(北側)  
→クラス棟からよく見える場所なので、目にひく展示をするとよい  
(例)生徒参加型の本棚を作る(生徒の推し本)
- ・ホワイトボードシートを貼り(壁の目隠し)自由に落書きできるコーナーに
- ・閲覧席を6人掛けにして、机を減らし、スペースを作る



- ・テーマは「北欧」  
(白色を基調。マリメッコっぽい感じ)
- ・サインは色地に白抜き文字を使うとよい
- ・柱ごとにテーマを決めて、展示コーナーを作る
- ・時計・カレンダーをテーマテイストに揃える
- ・禁止ポスターも絵を多用して、文章を減らす(そもそも貼りすぎない)
- ・検索パソコンはなくても良い(タブレットがあれば代用できる)⇒1台残し、カウンターで立ったまま検索できるようにする

- ・鏡にデコレーションをして、鏡を使う生徒の目を引く工夫をする
- ・書庫の前に置いているボードは展示や仕切りとして利用する
- ・電子・電気設備機器(制御盤、分電盤等)はうまく隠す
- ・高さの違う棚の上には芝生シートを敷いて、一体感を持たす
- ・背板が見えている書架は黒板ペンキを塗って展示に活用する
- ・ソファのカバーを替えて揃える
- ・窓に貼っている学習センターの表示は下の窓に貼ると、3階からも見ることができのでは?
- ・廊下を通る人に見えるように、外に向けて本の面出し展示をする
- ・カウンター内の司書の作業机は、カウンター(または新カウンター)に向いて、入館者が見えるようにする

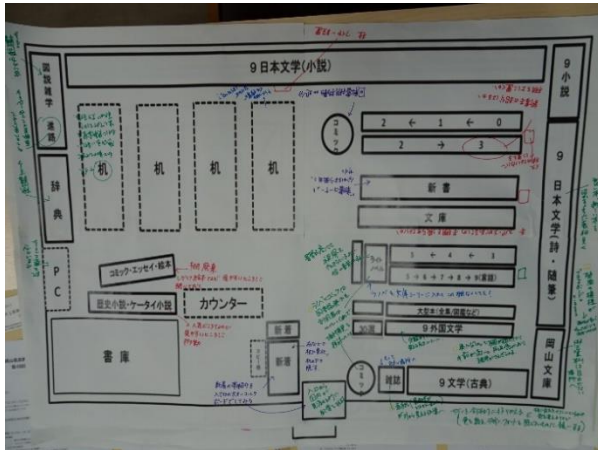


- ・入ってすぐの雑誌の向きを変える
- ・カウンターを司書スペースの柱のあたりまで下げ、空いたスペースには書架を置いて使用する
- ・芝生シートを使う
- ・分解できない高さの高い棚は処分する
- ・入って右側(北側)のブラインドは上げておき、展示コーナーを作成し定期的に更新する→教室棟からよく見える場所
- ・司書スペースにある小窓が外に面していてかわいいため有効活用できそう(例) 返却ポスト、新

### 着本紹介

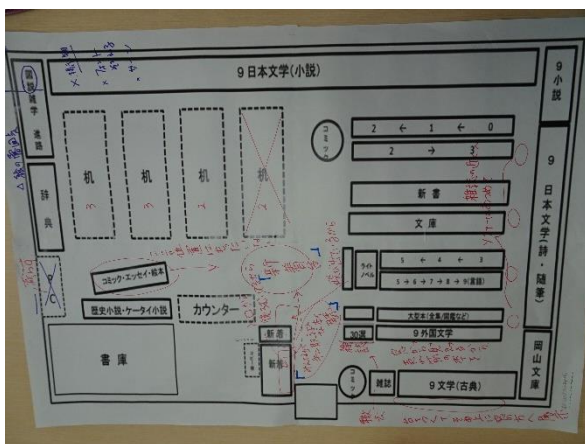
- ・入口ドアの窓に貼っている切り絵は外し、マステ等を活用して季節感のある飾りにする
- ・パソコンは蔵書検索用に1台だけ真ん中あたりに設置して、残りは処分する
- ・机を減らすことで中央部分が広く取れるので、ソファを持ってくる(現在の書架の間では狭くて行き来できない)ことで、くつろげるスペースにする
- ・机をくっつけずに離す
- ・廊下側の窓から見える棚には、人気本、映え本、よく貸出に動く本

・分類表は色を統一したものを設置してはどうか。書架側面を別のことに使うのであれば、分類表は別の場所でも良いのではないか



- ・雑誌は外から表紙が見える場所に移動させる
- ・ブラックボードを置く
- ・2000年代の書籍は、除籍するか書庫に
- ・ラノベとマンガの置く場所をあえて奥のあたりにする(どこに置いていても人は来るので、そこまでの通り道に様々な書籍を配置する)
- ・しかけ絵本があるので、開いて展示すると生徒の目を引く
- ・ケータイ小説などの生徒が興味を引く本は、表紙を見せて展示する

- ・柱にワイヤーを使って展示スペースをつくる
- ・本の帯紹介は入り口の外のコルクボードに掲示し、外を歩く人の目に留まるようにする
- ・低書架の上や展示台は、布を敷いて変化をつける
- ・新書はもっと除籍を進め、進路コーナーとうまく連動させる
- ・進路コーナーを目玉にしては?
- ・回転棚は不要では?
- ・マンガや9類が分散しているので近い方が良い
- ・入り口から奥に行くにつれて低→高書架がくるように配置し、目線が奥までいくようにする



- ・雑誌を館内に入ったときに見える位置に変更する
- ・机を減らし、入口から入って正面に新着図書が見えるようにする
- ・棚の高さと奥行を揃える
- ・サインのフォントを揃える (POP体は古いイメージ)
- ・サインはNDC分類の数字より文字を大きくして、図書館に慣れていない生徒にもわかりやすくする
- ・美術部等の生徒作品は、貼りっぱなしにせず統一感を持たせる
- ・観葉植物などの緑を置くと雰囲気がよくなる